

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	行事に市関係者を招待する際、窓口が法人施設が中心として行っている現状であるため地域密着型施設であることを意識し直接、関係機関と協力関係を築けるよう努める。	推進会議や行事等への出席依頼を併設の特養施設からではなく、ホームが中心となり、企画、実施を行っていくことで関係機関との協力関係を築く。	・開催月を定め計画的に開催する。 ・開催案内等を併設特養からでなく、ホームから発信する。 ・開催案内等郵送だけでなく時には持参し関係者とコミュニケーションを図れるよう努める。	12 か月
2	4	推進会議を通し認知症への理解を深め、利用者様と積極的に地域に出掛け又はホームにも招き地域に溶け込む。	認知症への理解を深めるため、外部に向けた勉強会等を実施し改めて知る機会を設ける。	・ホームの職員が中心となり認知症の勉強会の開催する。 ・地域行事へ積極的に参加する。 ・ホームの行事に地域へも呼びかけ交流を図る。	12 か月
3	-	利用者家族のアンケートの回収率が66%と低く、家族や利用者様のニーズの把握及びサービスの向上の為にもより多くの意見を求める必要性を感じる。	利用者家族のアンケート及び満足度アンケートの回収率UPやご意見や要望を言って頂け易い環境を整える。	・誕生日会等の行事にご家族の参加を呼びかけコミュニケーションを図り、普段の様子を知って頂きながらご意見や要望を聞ける様にする。	12 か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。